１．困難を乗り越えて成し遂げた経験を教えてください。

SNSアカウントを設立し、フォロワー数を大幅に増加させたことです。大学時代に中国最大のインスタントメッセンジャーアプリで公式アカウントを立ち上げ、日本語の勉強や日本文化などの内容の発信を始めました。しかし、ある時フォロワー数が500名からほとんど増えず、伸び悩んでいました。そこで、発信頻度の低さとプラットフォームの制限に課題を感じ、以下の2点を試みました。①中国人の先輩や後輩、日本人の友人など計12名のチームを立ち上げ、毎日コンテンツを発信する。②チームメンバーで話し合い、ほかのプラットフォームでも宣伝しようという案が採用されたため、音声配信アプリでもコンテンツの発信を開始する。3か月後、この案が功を奏し、フォロワー数が3000名を超えることができました。このような経験から、私はメンバー1人1人の意見に耳を傾け、尚且つ実行に移すことが、困難を乗り越え、課題を解決することに繋がると学びました。

２－（２）．ICTであなたが変えたい世界を教えてください。

　　　　　　また、内容に以下３点を含めてください。

　　　　　①変えたい世界と、そう考えたきっかけ／背景

　　　　　②実現するうえでの課題と、ICTを活用した解決策

　　　　　　（ICTは現存するものでなくてもかまいません）

　　　　　③実現できた場合の価値

　　　　　　（誰／何に対してどんな影響があるのか）

300文字以上500文字以下

変えたい世界：個人と社会が調和し、豊かな町を育む

私はICT技術を駆使し、情報弱者を無くし、誰もが暮らしやすい社会へと変えたいです。このように考えたきっかけは、学生時代の外国にルーツを持つ子供を対象とした日本語教育実践の経験にあります。区役所主催の日本語教室でボランティアとして外国にルーツを持つ子供に日本語を教えていた際に、日本語教室の場所や開催情報などがまったくIT化されておらず、外国人のコミュニティの中において口コミという形で情報が共有されていました。また、子供向けの日本語教育が個別支援できておらず、本人のレベルに合った教育ができていないという2つの課題に気づきました。以上の背景から、①各地域を跨いだ子供向け日本語教室の情報を発信するシステムを創る、②ICTを使ってクラウドなどを活用し、様々なレベルに対応したオンデマンド授業を事前にクラウドに入れることによって、子供がいつでもどこでも個々の学力に合った学習コンテンツを見つけることができる、という2つのICTを活用した解決策を考えました。貴社の高い技術力と官公庁との強固なネットワークを持つことから、地域社会における情報弱者を無くし誰もが生き生きとした世界を創ることができると考えます。